

「見えないものをどう見るか？：

原子・電子から地球・天体まで」

電子、放射光、各種プローブ等を用いた多種多様なイメージング技術は何れも急速に進展しており、一つの手法に目を向けているだけでは最先端のイメージング研究を行うことが難しくなりつつあります。本研究会では、様々な先進イメージングの関連分野で活躍中の研究者に話題提供いただき、「見えないものをどう見るか」という視点から、各種イメージング技術とその応用について情報交換を行う場を提供します。

日時： 平成26年3月1日（土），9:00－17:00

会場： 東北大学 金属材料研究所 2号館 1階 講堂

（〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1）JR 仙台駅 1階西口より徒歩 10分

参加費： 無料

~~~~~【プログラム】~~~~~

09:00-09:05	趣旨説明	波多 聰（九州大）
09:05-09:40	「X線位相イメージング」	矢代 航（東北大）
09:40-10:15	「コヒーレントX線回折イメージング」	高橋幸生（大阪大）
	（休憩）	
10:30-11:05	「中性子による先端計測技術」	藤田全基（東北大）
11:05-11:40	「ミュオンによる先端計測技術」	三宅康博（KEK）
	（休憩）	
13:00-13:35	「時間分解走査型トンネル顕微鏡技術」	吉田昭二（筑波大）
13:35-14:10	「非線形ラマン散乱顕微鏡による無線色イメージング」	橋本 守（大阪大）
	（休憩）	
14:20-14:55	「陽電子計測技術」	永井康介（東北大）
14:55-15:30	「逆問題の基本戦略」	山本昌宏（東京大）
	（休憩）	
15:40-16:15	「地震波トモグラフィーによる地球と月の解剖」	趙 大鵬（東北大）
16:15-16:50	「天文学における観る技術」	池田優二（京都産業大）
16:50-17:00	総合討論	

日本顕微鏡学会「様々な極微イメージング技術研究部会」

お問い合わせ先：波多 聰（九州大学 大学院総合理工学研究院 融合創造理工学部門）

Tel & Fax: 092-583-7522 E-mail: hata.satoshi.207@m.kyushu-u.ac.jp

東北大学金属材料研究所へのアクセスマップ。



東北大学金属材料研究所キャンパスマップ。会場は2号館1階にあります。



日本顕微鏡学会「様々な極微イメージング技術研究部会」

【活動の趣旨】

極微イメージングの手法としては、透過電子顕微鏡法に限らず、レーザー、放射光および各種プローブを用いた多種多様な技術が挙げられる。何れも急速に進展しており、それぞれの狭い専門手法にのみ目を向けていては、世界最先端のイメージング研究を行うことが容易でなくなりつつある。しかし、非専門家にとって他分野の現況を鳥瞰するのは容易ではない。

本研究部会は、様々な先進イメージング関連の分野で活躍中の若手研究者によって構成され、世界最先端のイメージング技術とその応用に関する現況と将来展望を紹介および議論する場を設ける。それぞれの専門の枠を越えた議論によって新しい観点やアイデアが生まれることが期待されるところに、本研究部会設置の意義がある。

【責任者】

波多 聡 九州大学 大学院総合理工学研究院
hata.satoshi.207@m.kyushu-u.ac.jp

【幹事】

	氏名	所属
1	荒河 一渡	島根大学 arakawa@riko.shimane-u.ac.jp
2	佐藤 和久	東北大学 ksato@imr.tohoku.ac.jp
3	杉本 宜昭	大阪大学 sugimoto@afm.eei.eng.osaka-u.ac.jp
4	鈴木 基寛	JASRI m-suzuki@spring8.or.jp
5	高橋 幸生	大阪大学 takahashi@prec.eng.osaka-u.ac.jp
6	林 好一	東北大学 khayashi@imr.tohoku.ac.jp
7	藤田 克昌	大阪大学 fujita@ap.eng.osaka-u.ac.jp
8	村田 和義	生理研 kazum@nips.ac.jp
9	山崎 順	名古屋大学 p47304a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp
10	山本 和生	JFCC k-yamamoto@jfcc.or.jp